

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

旧CAI学会

## ニュース・レター No.100



## 教育システム情報学会 第24回全国大会プログラム ～ 兵庫大会 ～

前号や大会ポスターなどでお知らせしましたように、本会の第24回全国大会、兵庫大会が8月6日（金）から開催されます。今号では、大会プログラムを掲載します。発表者ならびに参加者につきましては、ご確認のうえお越しく下さい。多くの方々のご参加をお待ちします。

開催日時 1999年8月6日（金）、7日（土）  
場 所 園田学園女子大学  
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1  
講演プログラム

8月6日（金）10:00～12:00一般発表

- A1 知的教育システム（第1会場 10:00-12:00）
- A1-1 数式計算を指導する知的CAIシステム「ACTS」における数式構造認識とその応用  
岡崎泰久（佐賀大学）、今福智博（佐賀大学大学院）岡本正義（三洋電機株）、  
近藤弘樹（佐賀大学）
- A1-2 解法定着のための作問演習支援システムの作成  
中野明・平嶋宗・竹内章（九州工業大学）
- A1-3 知的教育システムにおける学習者の入力の認識の並行化に関する考察  
江頭広幸・伊藤穰（佐賀大学大学院）、岡崎泰久・渡辺健次・近藤弘樹（佐賀大学）
- A1-4 学習モードと指導スタイルに基づくITSの指導方略の具体化  
伊藤穰（佐賀大学大学院）、稲田義邦（唐津市立竹木場小学校）、江頭広幸（佐賀大学大学院）、  
岡崎泰久・渡辺健次・近藤弘樹（佐賀大学）
- A1-5 認知情報を用いた知的教育システムCIBITSについて  
岩井憲一（滋賀大学）
- A1-6 電気回路マイクロワールドの知的支援に関する研究  
草野隆太郎・正田久美子・中村学・大槻説乎（広島市立大学院）

A1-7 分散オブジェクト・アーキテクチャに対応した Web-CAI の構成

井上久祥・岡本敏雄（電気通信大学大学院）

A2 インターネット（第2会場 10:00-12:00）

A2-1 Web 環境における問題解決の自己点検・評価システムの開発

東野勝治・松尾光洋・中邑光男・山崎純一（平安女学院短期大学）

A2-2 データベース連携 Web サーバによる学習環境の構築

村瀬孝宏（中京短期大学）

A2-3 ホームページ作成を用いた高等学校数学の指導法の開発

吉武進（大阪教育大学附属高等学校），佐藤隆士（大阪教育大学）

A2-4 「発想促進型」教育への WWW の活用

丁井雅美（京都工芸繊維大学），田村博（田村ヒューマンインタフェース研究所），  
渋谷雄（京都工芸繊維大学）

A2-5 インターネット上の仮想クラスによる異文化交流の実践

西野和典（大阪府立旭高等学校），辻陽一（帝塚山学院泉ヶ丘中等高等学校）

A2-6 イン트라ネット環境下における教育学習支援システムの開発

村本紘・中村信之・宮川洋平・和賀山新太郎（金沢工業大学）

A3 初等中等教育（第3会場 10:00-12:00）

A3-1 幼児教育現場へのパソコン導入と課題

宮川祐一（仁愛女子短期大学）

A3-2 幼児のコンピュータ遊びのあり方を分析するデータベースシステムの開発

堀田博史・金城洋子（園田学園女子大学），新田恵子（園田学園幼稚園），  
新井欣子（学ヶ丘幼稚園），松本善實（阪急学園），高橋純（富山大学大学院）

A3-3 幼稚園と大学が連携した親子コンピューター保育実践の考察

新田恵子・竹内淑・植田富美江（園田学園幼稚園），堀田博史（園田学園女子大学），  
高橋純（富山大学大学院）

A3-4 子ども用インターネット学習支援システムの構築（2）

伊藤剛和（園田学園女子大学）

A3-5 各学校段階に適する漢字使用をチェックするソフトウェアの開発

榎本聡・室田真男（東京工業大学大学院），清水康敬（東京工業大学）

A3-6 子ども用共同学習支援ツール 'inote' の開発

原克彦（園田学園女子大学），永野和男（静岡大学），山口高史（ゼータ），  
原久太郎（大日本図書）

A4 情報処理教育1（第4会場 10:00-12:00）

A4-1 学内 LAN を用いたプログラミング学習支援システムの構築とその評価

吉川博史・寺本光雄・安留誠吾（南大阪大学），工藤英男（奈良工業高等専門学校），  
前川武（大阪国際女子短期大学）

A4-2 フリーソフトウェアを用いた電子メール操作環境の構築

高橋進（信州短期大学）

A4-3 プログラム演習支援システムの開発

最首和雄・大木秀志・石田賢孝（明星大学）

- A4-4 プログラミング教育のための演習用プラットフォーム  
 棕田實（日本工業大学）
- A4-5 プロトタイプとデータ事例に基づく Prolog 学習支援システムの評価について  
 菅谷真行・松山昇太・伊丹誠・伊藤紘二（東京理科大学）
- A4-6 TTLとPLDを用いた論理回路設計教育  
 加藤芳信（福井工業大学）
- A4-7 デジタル回路実験支援装置の開発  
 土山牧夫（玉川大学）
- 
- A5 リテラシー・情報倫理（第5会場 10:00-12:00）
- A5-1 インターネットにおける情報倫理に関する意識調査（3）  
 工藤英男（奈良工業高等専門学校）、武村泰宏（浪速短期大学）、吉川博史（南大阪大学）
- A5-2 21世紀に向けた情報倫理教育の課題と展望  
 中條道雄（関西学院大学）
- A5-3 コンピュータの利用と性差（3）  
 中西宏文（愛知教育大学）、今榮國晴（名古屋音楽大学）
- A5-4 短期大学におけるノートパソコンを使ったリテラシ教育  
 宮本勉・渡部綾子（嘉悦女子短期大学）
- A5-5 ネットワークを利用した学生の就職意識調査システムとその調査結果  
 斐品正照・糟谷昌志・岡田口ベルト・大谷毅（宮城大学）
- A5-6 教員養成系大学1年生の情報技術に関する意識調査  
 角和博・岡島俊哉・温愛玲（佐賀大学）
- A5-7 企業における情報処理教育  
 渋井二三男（城西大学）
- 
- A6 認知・生体情報（第6会場 10:00-12:00）
- A6-1 学習者状態検出のためのリアルタイム表情認識  
 植野雅之（園田学園女子大学）
- A6-2 測定データを用いた操作熟達者の獲得スキルの検出  
 坪倉篤志（大阪電気通信大学）、上月景正（コナミ㈱）、対馬勝英（大阪電気通信大学）
- A6-3 読書時における周辺視の計測  
 播磨正吉・坪倉篤志・対馬勝英（大阪電気通信大学）
- A6-4 マウスを用いた主観値入力装置の開発  
 石桁正士・長谷川知彦（大阪電気通信大学）、浅羽修丈・宇治典貞  
 ・末弘剛（大阪電気通信大学大学院）
- A6-5 インターアクションの計量分析  
 平澤洋一（城西大学女子短期大学部）
- A6-6 光トポグラフィ法による脳前頭前野の思考状態測定  
 小澤啓子（東京学芸大学）、前迫孝憲（大阪大学）、藤原倫行・市川祝善（㈱メディコ）  
 小池敏英（東京学芸大学）
- A6-7 先行提示と理解度の実験による研究  
 手島恵・川合慧（東京大学大学院）

8月6日(金) 14:00～15:40講演会(基調・特別講演/講堂 14:00-15:40)

基調講演「21世紀に向けての教育システム情報学会の方向性」

対馬勝英先生(大阪電気通信大学教授)

特別講演「メディアリテラシー...阪神淡路大震災を経験して」

林英夫先生(サンテレビジョン報道制作局アナウンサー)

8月6日(金) 16:00～17:50(テーマ別発表)

T1 WWWを利用したCAIシステム(第1会場 16:00-17:50)

T1-1 仮想美術館Web Art Finderの構築

野口達毅(徳島大学), 尾崎圭司(四国大学), 矢野米雄(徳島大学)

T1-2 W-Miles:Webのバーチャル・クラスルーム・システム

樋川和伸・リック・ブローダウェイ(金沢学院大学), スコット・ドレイヤ(北陸大学)

T1-3 WWW上での自学自習用CAI教材の開発システム

横田壽(広島工業大学)

T1-4 WWW学習者モデルの個別学習支援

江天鳳・佐藤宏之・渡辺成良(電気通信大学)

T1-5 Insert of Partial Teaching Materials in Individual Teaching Material Generation and Presentation System

光原弘幸(近畿大学大学院), 黒瀬能幸(近畿大学)

T2 分散環境における協調学習支援(第2会場 16:00-17:50)

T2-1 学習理論に基づく協調学習環境の設計

稲葉晶子・池田満・溝口理一郎・豊田順一(大阪大学)

T2-2 マルチエージェントを用いた討論構造外化と支援に関する研究

花本一宏・提安史・福田美樹・中村学(広島市立大学院), 大槻説乎(広島市立大学)

T2-3 エージェントを用いた非同期バーチャルクラスルームの構築

松浦健二・緒方広明・清水直也・矢野米雄(徳島大学)

T2-4 作文教育のための添削によるグループ学習環境

高木秀典・馮誠・葉田善章・緒方広明・矢野米雄(徳島大学)

T2-5 仮想的協調学習環境における疑似学習者エージェントの行動決定手法

笠井俊信・岡本敏雄(電気通信大学大学院)

T2-6 グラフ表示を可能にしたサーチエンジンのインタフェースの開発とその検索過程の分析

赤堀侃司(東京工業大学), 高橋弘行(サンマイクロシステムズ)

T3 マルチメディア教材の現状と将来(第3会場 16:00-17:50)

T3-1 英会話, マルチメディア教材による「対話」の導入

梁川厚行・勝慶太(沖ソフトウェア株)

T3-2 マルチメディア教材活用の必要性

伊藤敏(愛知技術短期大学), 磯本征雄(名古屋市立大学)

T3-3 VODとTV電話を併用した一学習実験

- 岡谷義博（長野市立西部中学校），渡辺恵子（小布施町立布施中学校），大下眞二郎（信州大学）
- T3-4 小学校社会科の課題発見学習におけるマルチメディアの活用  
美濃守隆（大阪市立大宮小），藤田敏明（大阪市立苅田小），田端矢一郎（大阪市教育センター）
- T3-5 インターネットにおけるマルチメディア活用ツール  
谷上健一（日本IBM㈱）
- T3-6 バーチャルリアリティ教材作成の可能性  
行木修（デジタルマジック）
- T3-7 WWW上のVOD教材におけるユーザインタフェースについて  
大倉孝昭（大谷女子大学）
- 
- T4 高等学校における新カリキュラムに向けての情報教育（第4会場 16:00-17:50）
- T4-1 普通科高等学校総合選択制コースにおける情報科学類型の目指すもの  
清田成人（兵庫県立尼崎高等学校）
- T4-2 高等学校における教科・情報とその取り組みについて  
坪内（柴島高等学校）
- T4-3 高等学校「情報」の実践と課題  
足利裕人（鳥取県立）
- 
- T5 言語処理・知識処理を利用した学習環境の作り方（第5会場 16:00-17:50）
- T5-1 高校化学の学習支援用知識ベースの構築について  
小西達裕（静岡大学）
- T5-2 知識処理に基づいたシミュレーション  
平嶋宗（九州工業大学）
- T5-3 英語学習支援における言語処理  
國近秀信（九州工業大学）
- T5-4 教示対話システムにおける対話制御とマルチモーダル生成  
中野有紀子（NTTサイバースペース研究所）
- T5-5 教育システム開発のための概念体系の共有に向けて  
池田満（大阪大学産業科学研究所）

8月7日（土）10:00～12:00一般発表

- 
- B1 マルチメディア（第1会場 10:00-12:00）
- B1-1 Java Beans を用いた力学シミュレーションソフトウェアの体系化  
伊藤正俊（名城大学）
- B1-2 同期制御機能を有する Web マルチメディア・プレゼンテーション・システム  
樋川和伸・南俊博（金沢学院大学）
- B1-3 絵画の審美的印象度抽出実験  
山崎敏範・俣野裕美（香川大学）
- B1-4 学習者の環境としてのコンシューマ・ゲーム・ハードの動向  
川田博美（愛知技術短期大学）
- B1-5 美術教材データベースを利用した美術教育支援システム

山崎初夫（名城大学）、吉根勝美（南山大学）、野崎浩成（愛知教育大学）、  
磯本征雄（名古屋市立大学）

B1-6 視覚障害者のためのVoiceWindowsシステムの開発

本多博彦（宇宙科学研究所）、釜江常好（東京大学）、渡辺隆行（湘南工科大学）、  
小出富夫（クリエイトSTEM開発㈱）、宇野伸一郎（日本福祉大学）、栗原亨（筑波技術短期大学）、  
田島佐和子（インターネット技術研究会）

B1-7 サイバースペース上でのECシュミレーション教育について

家本修（大阪経済大学）

B2 協調学習（第2会場 10:00-12:00）

B2-1 情報教育における遠隔教育利用と学生の意識について

中田美喜子（広島国際学院大学）、吉田行宏（安田女子短期大学）、  
Rowena Santiago（カリフォルニア州立大学）

B2-2 モデリングを題材とした協調活動を支援するための機能について

関一也・岡本敏雄（電気通信大学大学院）

B2-3 文章の論理構造の表記法（3）

米澤宣義（工学院大学）

B2-4 インタフェースエージェントを利用した協調学習支援の考察

大野貴司・田中範子（北海道情報大学大学院）、斎藤一（北海道大学大学院）、  
前田隆（北海道情報大学大学院）

B2-5 協調学習グループ形成におけるネゴシエーション

塚本一真・テップチャイサップニティ・池田満・稲葉晶子・豊田順一・溝口理一郎（大阪大学）

B2-6 学習支援のためのネットワークコラボレーションモデルに関する考察

牧兼充・江木啓訓・西村祐貴・新井正樹・村井純（慶應義塾大学）

B2-7 NACSIS-ILL 遠隔研修システム構想

井上智雄・上野晴樹（学術情報センター）

B3 ビジネス・ゲームシミュレーション（第3会場 10:00-12:00）

B3-1 オフィス・ワークにおける自己能力の啓発（2）

杉田慶子・小谷多喜雄（樟蔭東女子短期大学）、岩崎重剛（大阪電気通信大学）

B3-2 Webを利用したゲーミングによる経済システムのシミュレーションの開発と評価（その1）

太田拓男・朽尾真一（追手門学院大学）、吉田明子・藪内寿子（有限会社プロアシスト）  
石坂公識（日本コンピュータシステム㈱）

B3-3 Webを利用した「ゲーミングによる経済システムのシミュレーション」の開発と評価（その2）実現方法

吉田明子（有限会社プロアシスト）、太田拓男・朽尾真一（追手門学院大学）、  
石坂公識（日本コンピュータシステム㈱）、藪内寿子（有限会社プロアシスト）

B3-4 Webを利用した「ゲーミングによる経済システムのシミュレーション」の開発と評価（その3）

朽尾真一・太田拓男（追手門学院大学）、石坂公識（日本コンピュータシステム㈱）、  
吉田明子・藪内寿子（有限会社プロアシスト）

B3-5 教育用EDIシステムの構築（1）

- 福田真規夫・下野辰久（大阪国際女子大学），中村民明（Tami 情報教育研究所）
- B3-6 ビジネス疑似体験演習システムをとおして得られた学生と社会人との総合的能力の自己評価の比較  
堀田博史・植野雅之・伊藤剛和・原克彦・山本恒（園田学園女子大学）
- B3-7 ネットワークを利用したビジネスゲーム（2）  
水野積成（名古屋外国語大学），星野雪子（名古屋女子商科短期大学）  
北川博美（中部女子短期大学），國津信博（名古屋外国語大学）
- 
- B4 情報処理教育（2）（第4会場 10:00-12:00）
- B4-1 文科系におけるCプログラミング教育  
佐野繭美・橋本はる美（摂南大学），高橋参吉（大阪府立工業高専），松永公廣（摂南大学）
- B4-2 プログラミング初心者を対象とした反復構造の誤り指摘システムのアルゴリズム  
久保田聡・青木征男（久留米工業大学），渡邊高司（㈱ブレイクスルー）
- B4-3 電子ノートによるCプログラミング演習時のエラー分析  
高橋参吉・仲程大輔（大阪府立工業高等専門学校），若林茂（神戸市立工業高等専門学校），  
松永公廣（摂南大学）
- B4-4 ノートパソコンと学内LANによるプログラミング教育  
宮本勉・大橋けい子（嘉悦女子短期大学）
- B4-5 コンピュータテストにおける解答過程のモデル化  
蘆田昇（福井工業高等専門学校），玉置豊（㈱大阪NDS），対馬勝英（大阪電気通信大学）
- B4-6 プログラミングアドバイスシステムの開発  
宮津章好・若林茂（神戸市立工業高等専門学校）
- B4-7 初等プログラミング教育のためのITS設計  
田辺公一郎・森本喜一郎（産能大学），松村幸輝（甲南大学）
- 
- B5 情報教育（1）（第5会場 10:00-12:00）
- B5-1 シンガポールにおける情報教育の現状と特質に関する研究  
小川勤（静岡大学大学院）
- B5-2 教職課程の学生が行ったミニ授業に対する評価の研究  
浅羽修丈・宇治典貞（同）末弘剛（大阪電気通信大学大学院），石桁正士（大阪電気通信大学），  
田中邦宏（大阪府立工業高等専門学校）
- B5-3 社会的構成主義による情報教育の展開  
関野卓正（兵庫県立武庫工業高等学校）
- B5-4 カルテから見た受講生の参加状態と授業内容に関する研究  
末弘剛・浅羽修丈・宇治典貞（大阪電気通信大学大学院），石桁正士（大阪電気通信大学）
- B5-5 情報システム演習の実践（1）  
松家英雄・森本喜一郎・田辺公一郎（産能大学）
- B5-6 CGIを利用した理解度調査法と実践効果  
筒本和広・瀬島紀夫（福山大学），黒瀬能幸（近畿大学）
- 
- E 英語セッション（第6会場 10:00-12:00）
- E-1 Educational Control of Game Style Learning Environment  
林敏浩・林田行雄（佐賀大学），矢野米雄（徳島大学）



E-2 GameStyleCAI System forKanjiLearning onWWW

林敏浩・江口信行・林田行雄（佐賀大学）

E-3 Chat'n'Debate:Collaborative LanguageClasses onthe Internet

西堀ゆり・岡部成玄・黒崎大輔（北海道大学）

E-4 Can asystemhelp design designer ?

谷口興紀（大阪産業大学）

E-5 Broadband Network usingCable Television Network for Elementary and Secondary Education  
inJapan

鳥居吉治（電気通信大学大学院）, 小倉博行（三菱電機株）

E-6 CommunicativeLanguage LearningEnvironment with theInternet

近藤泰城（三重県立川越高等学校）, 下村勉（三重大学）

8月7日（土）13:00～14:50パネル討論会

近未来教育に対する教育システム情報学会の役割と期待（講堂 13:00-14:50）

パネリスト：尾久土正巳（みさと天文台）

工藤育男（ジャストシステム）

松原行弘（香川大学）

渡辺健次（佐賀大学）

コーディネーター：矢野米雄（徳島大学）

8月7日（土）15:00～17:00一般発表

C1 学習コンテンツの共有・再利用（第1会場 15:00-17:00）

C1-1 メディアベースシステムにおける意味フレームインデクシングの支援

舟生日出男・黒田隆之・江上栄司・後藤洋平・伊丹誠・伊藤紘二（東京理科大学）

C1-2 WWWにおける学習リソースのデザインシナリオ見積もり手法

長谷川忍・柏原昭博・豊田順一（大阪大学）

C1-3 XMLを用いた教材共有化とその利用

梅田多一・平嶋宗・竹内章（九州工業大学）

C1-4 訓練システム作成支援環境Smart Trainer/ATのインタフェース設計

林雄介・金来・瀬田和久・池田満・溝口理一郎（大阪大学）, 太田衛・高岡良行（東光精機株）

C1-5 特許電子図書館を利用する情報創造型法学教育

木村友久（都城工業高等専門学校）

C1-6 法情報学の目的と法情報データベースの構築

夏井高人（明治大学）

C2 学習支援システム（第2会場 15:00-17:00）

C2-1 学習者の自己説明の外化を支援する学習環境の構築について

金西計英（徳島大学）, 妻鳥貴彦（高知工科大学）, 矢野米雄（徳島大学）

C2-2 学内LANのネットワークサービスを利用したバーチャルゼミの構築

榊井猛・那須靖弘・梶木克則・上向井照彦（甲子園大学）



- C2-3 Master mind プレーヤーの実時間モデル  
奥田富蔵 (東海大学), 大塚一徳 (東海大学福岡短期大学), 及川義道・井上靖 (東海大学)
- C2-4 通信制大学院におけるコンピュータネットワークの利用  
荒関仁志・宮本晃・上村賢治・瀬在幸安 (日本大学大学院), 多賀年秀・岩田力  
・宮古隆秀 (日本電信電話㈱)
- C2-5 -attenuation による各種学習時の学習者の精神的負荷の比較考察  
山口晴久 (和歌山大学)
- C2-6 マルチコミュニケーション型学習の実現  
三浦徹志 (大阪成蹊女子短期大学)
- C2-7 ハイパー空間における構成的学習のための知識マップ生成  
柏原昭博・豊田順一 (大阪大学)
- 
- C3 語学教育 (第3会場 15:00-17:00)
- C3-1 英会話習得用ソフトウェアの製作について  
堀江幸生・横井孝幸 (㈱春日染工所)
- C3-2 WWW を用いた工業英単語自習システムの運用  
吉岡貴芳・西澤一・斎藤努 (豊田工業高等専門学校)
- C3-3 ネットワーク型英語クローズテストにおける CMI システムの構築  
吉田信介 (摂南大学), 北村裕 (関西大学), 吉田晴世 (摂南大学), 堀井健・小谷賢太郎 (関西  
大学), 櫻井敏子 (神戸松陰女子大学), 山根繁 (甲南女子大学), 中谷麗菜 (摂南大学)  
RobertHart (イリノイ大学) JudithRamie (パーミンガム大学)
- C3-4 日本文化と日本語学習のためのコミュニケーションシステムの評価  
立田ルミ (獨協大学), 群司紀美子 (イリノイ大学), 中西家栄子・  
大西雅行 (獨協大学), 富澤儀一 (東京理科大学)
- C3-5 ひらがな CAI 「23 語で五十音」  
峯崎俊哉・宮城幸枝 (東海大学)
- C3-6 文章構造に着目した文章作成支援  
脇田里子 (福井大学), 越智洋司・矢野米雄 (徳島大学)
- 
- C4 情報処理教育 (3) (第4会場 15:00-17:00)
- C4-1 情報教育カリキュラム作成のためのヒューマンコミュニケーション・モデル  
村田育也・大月一弘 (神戸大学), 樽磨和幸 (大阪商業大学), 蛭名邦禎 (神戸大学)
- C4-2 大学生のメディア嗜好によるグループ化  
山下倫範・友永昌治・宮崎智絵 (立正大学), 青木智子・  
河本進 (東北文化学園大学), 永田清 (大東文化大学)
- C4-3 データ分析教育のためのデータベース構築  
武田俊之 (関西学院大学)
- C4-4 コンピュータ操作スキルと学習効果について  
伊藤求・高橋正 (神戸大学)
- C4-5 東南アジアにおける情報処理技術者の育成について  
佐藤文博 (中央大学), 高田伸彦 (ポリテクカレッジ岡山)
- C4-6 情報教育の実践としての表計算ソフト

- 竹本宜弘（工学院大学），山下昌子（跡見学園女子大学）
- C4-7 VODを利用した教員研修のための動画像検索システム  
鷹岡亮（山口大学），岡本敏雄（電気通信大学大学院）
- 
- C5 情報教育（2）（第5会場 15:00-17:00）
- C5-1 情報教育の研究  
正木幸子（大阪商業大学）
- C5-2 情報教育からみた入試センター試験（数学）  
新田眞一（四条畷学園女子短期大学），大西慶一（大阪女子短期大学），野口紳一郎（龍谷大学），  
石桁正士（大阪電気通信大学），情報教育学研究会
- C5-3 情報教育からみた入試センター試験（数学）  
田中千博（住吉学園高等学校），新田眞一（四条畷学園女子短期大学），横山宏（大阪電気通信大学  
短期大学部），石桁正士（大阪電気通信大学），情報教育学研究会
- C5-4 知識社会における情報教育・マルチリテラシ教育の概要  
沢恒雄（愛知学泉大学）
- C5-5 文系女子大における新しい情報教育  
塚本榮一（東洋英和女学院大学）
- C5-6 情報教育の進展にともなう学生意識の変化とその問題（ ）  
野口紳一郎・高橋哲郎（龍谷大学）
- C5-7 情報システム演習の実践（2）  
森本喜一郎・松家秀雄・田辺公一朗（産能大学）
- 
- C6 教材・CAI開発（第6会場 15:00-17:00）
- C6-1 教材構造言語の設計（1）  
米澤宣義・町田知之（工学院大学）
- C6-2 電子メディアを使った高校数学の個別学習ソフトの開発  
丹羽時彦（関西学院高等部），雄山真弓（関西学院大学），田中一義（日立西部ソフトウェア㈱）
- C6-3 カスタマイズ指向のアセンブラ・シミュレータ  
林谷嘉博・黒瀬能幸（近畿大学）
- C6-4 解析学演習における多人数教育の改善  
宮地功（岡山理科大学）
- C6-5 DynamicDesign  
森石峰一（帝塚山学院大学），古堅真彦（財団法人国際メディア研究財団），  
上田信行（甲南女子大学）
- C6-6 給食管理実習のための献立作成演習  
深津智恵美（園田学園女子大学），森永理恵子（摂南大学），西端律子（大阪大学），  
松永公廣（摂南大学），菅井勝雄（大阪大学）
- C6-7 徳徳帳（通信票）利用による授業改善  
徳野理（大阪青山短期大学）
- 
- HP ホームページセッション（第7会場 15:00-17:00）
- HP-1 Webを利用した「ゲーミングによる経済システムのシミュレーション」

- 太田拓男・朽尾真一（追手門学院大学）  
 石坂公識（日本コンピュータシステム株）、吉田明子・藪内寿子（有限会社プロアシスト）
- HP-2 学習素材検索サイト「みつけ」の開発  
 篠原正典（NTTマルチメディアビジネス開発部）、永野和男（静岡大学）  
 堀田達也（富山大学）、原克彦（園田学園女子大学）
- HP-3 自己学習支援システム「ELS」  
 植野雅之・山本恒・伊藤剛和（園田学園女子大学）
- HP-4 情報倫理教育のための教材「インターネット活用と情報倫理」の作成  
 高橋参吉（大阪府立工業高等専門学校）、西野和典（大阪府立旭高等学校）、  
 泉博夫（大阪府立和泉工業高等学校）、河俣英美（大阪府立四条畷北高等学校）、  
 山上通恵（兵庫県立神戸甲北高等学校）、金田忠裕・  
 北野健一・乾達巳・望月久稔（大阪府立工業高等専門学校）
- HP-5 文科系研究者のためのインターネット授業の課題：改訂版  
 福田博同（跡見学園女子大学）

8月5日（木）10:00～17:00若手の会ワークショップ

WS ネットワーク環境における新しい教育・学習支援

WS-1 WWWにおける学習リソースの組織化

長谷川忍・水口誠司・柏原昭博・豊田順一（大阪大学）

WS-2 デジタルミュージアムの将来とXMLの利用可能性

杉山公弥子・荻原達雄・安田孝美・横井茂樹（名古屋大学）

WS-3 日本語学習支援のための作文における誤り診断システムについて

掛川淳一・神田久幸・藤岡英太郎・伊丹誠・伊藤紘二（東京理科大学）

WS-4 統合学習支援システムの基本設計と構築

中林寿文・渡辺成良（電気通信大学）

WS-5 グループ別ミーティングの為の協調スケジューリング支援

近藤健志・菅谷真行・鈴木由宇也・村山智之・伊丹誠・伊藤紘二（東京理科大学）

WS-6 引用に基づくWebリソースの活用・共有を支援する学習環境

越智洋司・矢野米雄（徳島大学）、脇田里子（福井大学）

WS-7 疑似学習者エージェントによる協調学習支援システム

笠井俊信・岡本敏雄（電気通信大学大学院）

WS-8 視線情報を用いたテスト環境の構築

坪倉篤志・対馬勝英（大阪電気通信大学）

WS-9 ハイパー空間の地図

坂本雅直・柏原昭博・豊田順一（大阪大学）

WS-10 出会いを支援する学習環境

緒方広明・松浦健二・矢野米雄（徳島大学）

## 教育システム情報学会 第25回通常総会開催通知

会 員 各位

教育システム情報学会  
会 長 対馬 勝英

本年度通常総会を下記のとおり開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席賜わるようお願い申し上げます。当日ご出席いただけない方は、本ニューズレター同封の「委任状」に住所および氏名を記名捺印して返信用封筒をご利用いただいて本部事務局に8月2日までにご送付ください。

### 記

1. 開催日時 1999年8月6日(金) 午後13時30分～
2. 開催場所 園田学園女子大学 〒661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1
3. 議 案
  - 第1号議案 1998年度活動報告の件
  - 第2号議案 1998年度決算報告および監査報告の件
  - 第3号議案 1999年度活動計画案の件
  - 第4号議案 1999年度予算案の件
  - 第5号議案 役員の任期満了に関する件

\* 議題は当日変更もあることをあらかじめご了承ください。



1999年5月11日～1999年6月30日

#### 新入会員（敬称略）

JSiSE-9901622	柳田久弥	富士大学	JSiSE-9901629	林谷嘉博	近畿大学
JSiSE-9901623	水野りか	信州大学	JSiSE-9901630	上田容子	下松市立花岡小学校
JSiSE-9901624	小林佳美		JSiSE-9901631	日高正巳	神戸大学
JSiSE-9901625	栗山次郎	九州工業大学	JSiSE-9901632	布施芳一	桐朋学園大学
JSiSE-9901626	清水 学		JSiSE-9901633	江上邦博	千葉経済大学短期大学部
JSiSE-9901627	太田建志	高知大学	JSiSE-9901634	保崎則雄	神奈川大学
JSiSE-9901628	三好康夫	高知大学	JSiSE-9901635	河田 進	詫間電波工業高等専門学 校
			JSiSE-9901636	寺田 貢	帝京科学大学
			JSiSE-9901637	長町三生	国立呉工業高等専門学校
			JSiSE-9901638	岩根典之	広島市立大学
			JSiSE-9901639	辻 達之	九州工業大学
			JSiSE-9901640	佐渡一広	群馬大学
			JSiSE-9901641	水谷秀雄	(学) 笹田学園デザイン テクノロジー専門学校

## Interactive Education Japan 99のご案内

教育現場の知と産業界におけるテクノロジーの先端技術との対話をしよう

今日、学校でも企業でも、若者たちが学習意欲を失いかけています。新しいものを創造するよりも、すでにできあがった知識や技能を暗記して最低限のノルマをこなすという安易な方策に流れる傾向が強くなっています。このような現状を打破することは、教育界・産業界の共通の課題であり、双方の協力のもとに「学び」の回復の方策をさぐるものが急務です。その際、最近の学習論で主張されている、「社会などの共同体及び文化への参加の軌道が見えることが大切だ」という点に注目し、人々の学びの復興をはかるべきと考えています。

具体的には、「学びの場」に、学習者相互のインタラクション、異なる学習経験のインタラクション、学校と社会（知の現場）とのインタラクションを活性化すること。そして学習者が単に「学習者」の立場にとどまらず、「学び手」からしだいに「プロデューサー」/「クリエイター」となっていくプロセスを支援する方策を模索するため、教育現場の知と産業界におけるテクノロジーの先端技術との対話をしようというのが、本ワークショップの目的です。本会も協賛しています。

日 時：1999年8月19日、20日（両日とも10時開場を予定）

場 所：日経ホール（東京都千代田区大手町1-9-5）

主 催：日経BP社

後 援：文部省（予定）、通商産業省（同）、郵政省（同）、社団法人日本教育工学振興会（JAPET）

協 賛：電子情報通信学会、情報処理学会、日本認知科学会、日本教育工学会、人工知能学会、教育システム情報学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会（一部交渉中）

実行委員長：佐伯胖 東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長

参加費：無料

お問い合わせは、Interactive Education セミナー事務局へ

電話（03）5770-5792 FAX（048）718-1199 URL <http://www.aptech.co.jp/iej99/regist.html>

## 第4回 FLEAT開催のご案内

### Foreign Language Education and Technology

語学ラボラトリー学会（LLA）とアメリカの International Association of Learning Laboratories（IALL）が共催して、標記の大会が行われます。同時に、LLA 創立40周年記念の大会となっています。大会テーマは Language Learning and Multimedia：Bridging Humanity and Technology を掲げ、語学教育とマルチメディアの人間の側面と技術・工学との接点を模索します。本会も協賛しています。

開催日程：2000年7月29日（土）～8月1日（火）

テ ー マ：Language Learning and Multimedia：Bridging Humanity and Technology

開 催 地：兵庫県神戸商科大学および神戸学園都市「ユニバプラザ」

共 催：語学ラボラトリー学会（LLA：日本）

International Association of Learning Laboratories（IALL：アメリカ）

## 国際会議の案内

ここで紹介されている国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますのでそちらのほうもお待ちしております。

本案内はWWW ( <http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/hayashi/jsise/conf.htm> ) で見ることもできます。

### M/SET 2000: International Conference on Mathematics / Science Education and Technology

開催日程：2000年2月5-8日  
主催：AACE  
開催地：San Diego Marriott-Mission Valley, San Diego, California, USA  
論文応募締切：1999年10月5日  
URL: <http://www.aace.org/conf/mset/mset2000call.htm>  
e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

### SITE 2000: The 11th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催日程：2000年2月8-12日  
主催：AACE  
開催地：San Diego Marriott-Mission Valley, San Diego, California, USA  
論文応募締切：1999年10月5日  
URL: <http://www.aace.org/conf/site/site2000call.htm>  
e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

### CHI 2000: The CHI 2000 Conference on Human Factors in Computing Systems

開催日程：2000年4月1-6日  
主催：ACM SIGCHI  
開催地：The Netherlands Congress Centre, The Hague, The Netherlands  
論文応募締切：1999年9月13日  
URL: <http://www.acm.org/signs/sigchi/chi2000/>  
e-mail: [CHI2000-office@acm.org](mailto:CHI2000-office@acm.org)

### WWW9: 9th International World Wide Web Conference

開催日程：2000年5月15-19日  
主催：IW3C2 (International World Wide Web Conference Committee)  
開催地：Amsterdam, Netherlands  
論文応募締切：1999年11月22日  
URL: <http://www9.org/>  
e-mail: [info@www9.org](mailto:info@www9.org)

### AVI 2000: Fifth International Working Conference on Advanced Visual Interfaces

開催日程：2000年5月24-26日  
主催：ACM  
開催地：Grand Hotel Et Des Palmes, Palermo, Italy  
論文応募締切：1999年10月23日  
URL: <http://www.ing.univaq.it/avi2000/>  
e-mail: [avi2000@infolab.ing.univaq.it](mailto:avi2000@infolab.ing.univaq.it)

### ACM Hypertext 2000: The Eleventh ACM Conference on Hypertext and Hypermedia

開催日程：2000年5月30日-6月2日  
主催：ACM  
開催地：San Antonio, USA  
論文応募締切：1999年10月1日  
URL: <http://www.ht00.org/>  
e-mail: [pnuern@daimi.au.dk](mailto:pnuern@daimi.au.dk)

次ページにつづく

ED-MEDIA 2000: World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications

開催日程：2000年6月26日-7月1日

主催：AACE

開催地：Le Centre Sheraton Hotel Montreal, Montreal, Canada

論文応募締切：1999年10月26日

URL: <http://www.aace.org/conf/edmedia/call2000.htm>  
e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

PRICAI 2000: The Sixth Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence

開催日程：2000年8月28日-9月1日

主催：PRICAI

開催地：Melbourne Convention Centre, Melbourne, Australia

論文応募締切：2000年2月11日

URL: <http://www3.cm.deakin.edu.au/pricai/frames/main.html>  
e-mail: [pricai@deakin.edu.au](mailto:pricai@deakin.edu.au)

WebNet 2000: World Conference on the WWW and Internet

開催日程：2000年10月30日-11月4日

主催：AACE

開催地：San Antonio, USA

論文応募締切：未定

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>  
e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

文責 松原行宏 (香川大学)  
[matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp)

#### 事務局からのお願い

会員みなさまの所属が変わられました場合、すみやかに事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

また事務局では、会員の方との連絡手段にメールを活用していますので、まだ届けていないとおもわれる方におかれては、ぜひともメールアドレスをお知らせください。

## 今年度(99年度)会費を請求しています。

会費の前納にご協力ください。

5月のニューズレター発行時に99年度会費を請求させていただきました。ご納入いただきましてありがとうございます。

今回は、まだ納入いただけていない方のみに、あらためて請求書と振込用紙を同封していますので、ご納入いただけますようお願い申し上げます。

2年、3年とまとめて納入される方もいらっしゃるようですが、学会運営は単年度予算で運営しています。1年単位の会費納入にご協力くださるよう重ねてお願いします。

なお、すでに99年度分を納入されていたり、請求書記載の金額がちがう場合は、お手数ですが、請求書発行時の行き違いとも思われますので、事務局へお問い合わせくだされば幸いです。

E-mail: [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)

## 99年度ニューズレターの発行予定

みなさまからの原稿をお待ちします。お寄せください。

原稿の締切りは、発行月の10日です。号によって若干の違いがありますので、事務局にお問い合わせください。

- No.99 1999年5月下旬発行
- No.100 1999年7月下旬発行(大会直前号のため中旬になります。原稿締切は6月末日)
- No.101 1999年9月下旬発行
- No.102 1999年11月下旬発行
- No.103 2000年1月下旬発行
- No.104 2000年3月中旬発行(原稿締切3月1日)



# 2000年特集号の論文募集します。

テーマは

## 「インターネット技術と教育」

教育システム情報学会（旧 CAI 学会）では、学会誌 2000 年度秋号（2000 年 10 月発行予定）において、「インターネット技術と教育」の特集を行います。

インターネットは、教育のさまざまな場面に応用され、有効なシステムとして機能しています。今回、「インターネット技術と教育」をテーマに、インターネットを利用した教育システム、インターネット技術を活用した教育実践などについての先進的研究をまとめ、この分野の現状と将来の展望、そして課題を明らかにすると共に、幅広い研究・開発を促進することを目的に、特集号を企画しました。

皆様方の新規性に溢れた研究を、また有用性十分な実践を論文にまとめて、ぜひご投稿ください。

対象分野：インターネットを利用した教育システム、インターネット技術を活用した教育実践など、インターネット技術と教育に係る研究および実践全般。

論文種別：今回募集する論文の種別は、「原著論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」、「資料論文」である。ただし、査読の結果、異なる種別での採録となることもある（論文種別については、「学会誌原稿執筆要領」を参照のこと）。なお投稿の際、原稿の 1 ページ目に、論文種別と特集号であることを、必ず明記すること。

制限枚数：「学会誌原稿執筆要領」に記されている、論文種別による制限枚数のとおりとする。

投稿締切：2000 年 4 月 1 日事務局必着。

寄稿の手続き：封筒の表に必ず「特集号・論文原稿在中」と朱書きで記すこと。その他の寄稿の手続きについては、「学会誌原稿執筆要領」に記されているとおりとする。

連絡先・原稿送付先：教育システム情報学会事務局

〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 工学院大学情報科学センター内

Tel:03-3342-0485 Fax:03-3340-0135 E-mail:secretariat@jsise.org URL <http://www.jsise.org/>

### 来れ大学院生 特別共同利用研究員の募集

メディア教育開発センターでは、平成 11 年度より大学院生を特別共同利用研究員として正式に受け入れる制度がスタートした。受け入れ対象は、国公立私立大学の大学院に在学し、メディア教育またはこれに関連する研究分野を専攻する者。年度途中でも随時申請を受け付けているので、ふるって申請して

ください。

- ・ WebSite:<http://www.nime.ac.jp>
- ・ 問い合わせ先：メディア教育開発センター研究部長 / 大学院教育委員長 永岡慶三
- ・ e-mail:[nagaoka@nime.ac.jp](mailto:nagaoka@nime.ac.jp)
- ・ 資料 / 申請書請求先：〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2-12 メディア教育開発センター研究協力課 研究協力係 電話 043-298-3083